

Rd.9,10 OKAYAMA Race Report

2023 August 19-20th

FANATEC



WORLD CHALLENGE

ASIA



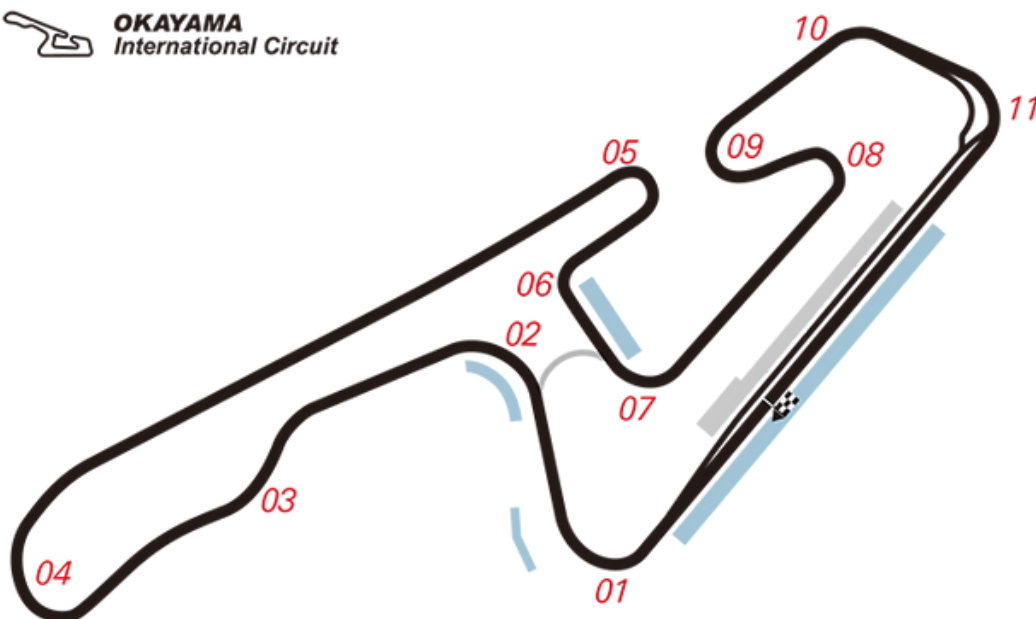
SEITA NONAKA



Circuit

開催国 : 日本
サーキット名 : 岡山国際サーキット

 **OKAYAMA**
International Circuit



SPONSORS

有限会社 坂下組

HIRANO TIRE

ASURA

OSUSO

CUBE
CONSTRUCTION
TOTAL SYSTEM

ピアカリーニング
Quality, Value, Ecology & Smile
コインランドリー

Final Lap

OUTISTA
RACING EQUIPMENT

air-J

LANDMASTER

K&C
KOBAYASHI
DENTAL CLINIC

AUTOBACS
東浦和店

9999

インパイヤ自動車株式会社

Arai
HELMET

SEV

Tipo

NAKANE
CHIROPRACTIC

EXGEL
Motor-sports

SK MOTOR

DAY-YOU



言葉の壁を乗り越えチーム一丸となり 劇的な1勝をもぎ取る

Free Practice

WET→DRY

チームとして初めての日本ラウンドとなった。前回からエントリー台数が増えたため、自分たちの実力を測れる機会であり非常に期待を持って挑んだ。

2日間の練習走行でドライを走れたのは1セッションのみとなった。チームメイトのハリ選手は初の岡山サーキット走行のため優先して走行時間をとり練習を進めていった。

ドライでの走行時間が貴重な中、マシントラブルも発生してしまい予選に向けて不安が残ったまま練習走行を終えた。

Qualify

DRY / 2位,4位

練習でのフィーリングを受けて、より曲がりやすいようにセッティングを変更して出走。しかし、エアコンのトラブルが起こればパワーダウンしてしまいパフォーマンスが落ちて

しまう中でのアタックとなった。野中はトップから3/100秒差の2番手。ハリ選手も健闘し、4番手タイムを記録。

この結果により、第1レースで4番手、第2レースで2番手からのスタートとなった。



Race 1

DRY / 1位

1時間のレースで、前半は全車統一でアマチュアドライバー、後半をプロドライバーが走行するというルールで行われる。

ハリ選手が4番手からスタート。

スタート直後に1台オーバーテイクし順位を上げたものの、その後抜き返されてしまい4番手でドライバー交代。

野中に交代した後はハードプッシュでファ

ステストラップを記録しながら追いつけていった。

2番手までは追いつけたものの、トップとは30秒の大きな差があった。

しかし、ファイナルラップでトップを走行していた車両がトラブルによりゴールライン直前でストップ。

劇的な逆転優勝し今季3勝目を挙げた。

Race 2

DRY / 2位

RACE1とは異なり、前半をプロドライバー、後半をアマチュアドライバーが走行する。

野中が2番手からスタート。

オープニングラップで1台オーバーテイクし、トップに浮上。

その後はファステストラップを刻みながら毎コンマ3秒以上速いペースで後続を引き離していった。

後続とのギャップを維持したままピットインしドライバー交代。

しかしRACE1の結果を受けてピットストップが15秒長いハンデを課せられていたため、ピットアウトすると3番手までポジションダウン。

ハリ選手が良いペースで走行するものの、追いつけず2番手でゴールとなった。



スポンサーの皆様へ

今回もたくさんの声援ありがとうございました。

チームとして2レースともに素晴らしいパフォーマンスを発揮する事ができました。

個人としてもスピードを見せ、チームの期待に応える事ができました。

英語でのコミュニケーションに苦労する場面もありましたが、次戦に向けて良い雰囲気を作れていると感じます。次戦はマレーシアでの開催となります。応援よろしくお願いたします。